

輝く 田底っ子

第14号

文責：校長 益永 一幸

田底小 スローガン

① 自分と周りの人を大切にしよう

② 自ら進んで学び、互いに高め合おう



特色ある学校を目指して ～田底小ならではの教育～



田底小は、田底の地理的環境、文化・歴史、教育環境等の実態を踏まえ、本校にしかできない学校教育を目指しています。それが「学校教育目標」（スローガン）であり、その実現に向け学校・家庭・地域が一体となった取り組みをしています。

しかし、現実には、学校には教科学習以外に実に多くの教育を行わなければならないのです。「環境教育」「人権教育」「キャリア教育」「性教育」「食育」「国際理解教育」「安全・防災教育」「ボランティア教育」「情報モラル教育」などなど、すべて学校で行っている教育です。私たちは、児童の実態に応じて、田底小の児童が身に付ける力は何なのかを明確にし、それを学校教育の特色として位置づけています。つまり、本校では、この中の「人権教育」を核とした教育活動を行っています。

この学校教育目標を実現させるためには、「教職員の笑顔」が一番大切だと私は思っています。疲れ果てた顔でテンションが低い状態で子どもと向き合うようでは、実りある教育活動は行えません。そうならないために、学校では、「働き方改革」を推進し、教育活動の重点化とスリム化を図っているところです。また、家庭や地域と連携協力し、地域の教育的資源を生かすことで教育効果をあげたいと思っています。どうか本校教育充実のために、ご理解とご協力をお願いします。

音楽部の発表



6月11日（金）の朝の音楽集会は、音楽部4人の「琴の演奏」発表でした。「さくらさくら」「荒城の月」の2曲の演奏を Zoom で各教室のみんなに配信しました。

13本の弦の調律が難しく、通常の音符を使った楽譜ではないので慣れるのに時間がかかっていましたが、発表という目標でやる気が出てきたようです。

本番ではとても緊張していましたが、その緊張した様子を見ると、「今、成長している」子どもたちを感じることができました。

発表の最後には、「みなさんに楽しんで聴いてもらえるように、弾ける曲を増やしていきます。楽しみにしておいてください。」という力強い言葉も出ました。

心に響く言葉

心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる

（山下知茂さん：松井秀樹選手の高校時代の恩師）